

特定非営利活動（NPO）法人

## ワークスたんぽぽを支える会 会報

チャレンジャーズ Vol. 17

2011・8・23

### 地震にもめげずに

### 大沼作業所を無事スタートさせました



清宮 侏子

日頃、皆様には何かとご配慮をいただき、心から感謝申し上げます。  
昨年度の終わりに、思いがけない（東日本大震災）に見舞われましたが、自分たちの事にかまけてお伺いも致しませんでした。改めて御見舞申し上げます。

私共も、就業時間中の事でもあり、家族との連絡なども何とかとれ、大きな破綻もなく全員無事で怪我人も出なかったことは大変幸せでした。今年度スタートで準備しておりました大沼作業所も工事資材の入荷遅延等で一週間程予定が延びましたが、4月11日に開所の運びとなりました。多賀中部支所から南部支所まであたりを一応のお客様範囲として開所のご挨拶とPRを兼ねてまわりましたが、翌週には早速注文をFAXして下さったりとても有難く嬉しい事でした。

話は変わりますが市内のNPO法人日立太陽の家（重障者通園施設を長年続け、近年居宅介護事業所を立ち上げて、今年ケアハウス建設に取り組んでいる）より声をかけられ、「北欧福祉研修視察」に職員7名を参加させる事を計画しておりました処、地震で4月10日～15日が、12月実施に延期となりました。私共も現在の福祉作業所だけでなく、グループホームの運営やケアホームの建設など就労支援においても新しい事業を展開して行かなければならない現状なので、職員にも北欧の先進的な福祉への取組みを学んでもらう事は必須の事と思いい、参加呼びかけに7名の希望があり、私共の未来のためにも出来るだけの協力をしたいと思っています。

大沼作業所は、6号国道に面し、ワークスたんぽぽの看板店になりそうです。自分たちの作業所を自分たちで育てていけることは本当に恵まれた事だと思っています。

乗り越える喜びを通所生にもそれを支える職員やボランティアにも知って欲しいと思っています。

## 『東日本大震災』をのり越えて ～あの日あの時 そして それから～

忘れもしない3月11日(金)午後2時46分、私たちの街も大地震に襲われました。誰もが経験のない大きな揺れに驚き、どこに身を置いたらよいか、どこへ避難すればよいか戸惑い、その後頻繁に起きる余震にさらに不安を隠す事の出来ない状況にあった事と思います。改めて被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

あの日あの時、ワークスたんぽぽの各事業所はどういう状況だったのでしょうか。振り返り今後に活かしてゆきたいと思います。

### ★成沢事業所では

最初揺れた時にはそのうち収まるであろうと思い、とりあえずドアを開けに行く、作業室の中では、指導員の指示によりほとんどの通所者が頑丈な作業台の下に潜り込んでいました。2～3人ドアのところまで走ってきた通所者がいたので、しゃがませ様子を見ましたが、なかなか揺れが収まらないので車いすの方を先頭に並ばせ、陶芸品が散乱した床の上を乗り越えて駐車場へ誘導しました。事の重大さを感じてか、こだわり行動に固執する方、パニックになる方はひとりもなく、全員スムーズに外に出る事が出来ました。その後、防災無線個別受信機と災害持出し用袋、各自の荷物を指導員が取りにゆき、駐車場の真ん中で全員かたまって座り、迎えを待ちました。暗くなり寒くなったので、簡易テントを立てて、バーベキューコンロで炭をおこし、暖を取りました。徒歩通所の方や迎えが来ない方は、職員が付き添い送りました。8時半頃までには全員無事帰すことが出来、ホッとしました。

### ★鹿島事業所では

成沢同様、指導員の指示で机の下などで様子を見てから、収まらないの確認し外に出ました。中のほうが安全だと主張する方もいましたが、隣のビルに亀裂が入るのを見て慌てて出て歩道のところに集まりました。徒歩で帰れる方、連絡がついた方は帰し、そのほかの方は国道沿いに止めた車の中で待ちました。最後まで連絡の取れなかった方は車で送りました。9時頃に全員家へ届けることが出来ました。

### ★相賀事業所では

やはり、指導員の指示で外に出て隣の駐車場に避難しました。徒歩で来ている方はいない為、迎えに来るのを待ち、これない方は指導員や親同士で連絡を取って送りました。排水の為レンガで高くしていた業務用冷蔵庫と冷凍庫が少し斜めになりましたが問題はなく、11日後、2日間の施設内試運転を経て営業を再開しました。今回の震災で、まずは落ち着くこと、通所者を抱える施設側はばらばらに行動せず、迎えが来るのを安全な所で待つという事が大切だと実感しました。おかげさまで大きな被害も無く11日後には何とか業務を再開する事が出来ました。通所者・保護者の皆様ご協力誠に有難うございました。

## 南部地区に新規開設

# 「ワークスタんぽぽ大沼事業所」 始動

### ～ お昼のお弁当(わくわく弁当)づくりは2箇所目、2011年4月から ～

かねてより準備しておりました大沼事業所が、東日本大震災にもめげず、大沼町国道6号沿いに開設しました。利用定数は10名ですが、現在5名の利用者が通所し、指導員と共にお弁当作りに励んでいます。

運営体制は、ワークスタんぽぽ成沢事業所の従たる施設として位置付けられ、多賀・南部地域をエリアとするお店として開店しました。日立地区をエリアとする相賀事業所同様、手作りの味を大切にすることをモットーにし、一つひとつ心をこめて作っています。現在のところ、毎日合計で約40食～50食を事業所等に届けておりますが、さらに増やすことが課題になっております。お問い合わせをいただければ、ご案内申し上げます。

是非お知り合いや事業所にお声をかけていただければ幸いです。よろしくお願い致します。

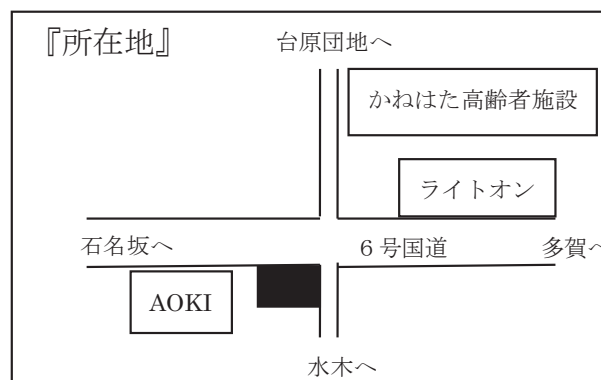


### 〈ご案内〉

- ☆ 中身は日替わり、値段は1個400円と手ごろ。
- ☆ 午前10時までにお電話等でご注文ください。
- ☆ 午前12時ころまでに注文先までお届けします。
- ☆ 配達コース内であれば、1個からお届けします。

問合せ先 日立市大沼町1-28-11

電話 0294-51-5251



## ワークスたんぽぽを支える会新体制 6月1日から

### ～ 6月1日から、専務理事 森田隆昌氏から木村統氏にバトンタッチ ～

1995年ワークスたんぽぽ設立、NPO法人取得、そして事業所拡張等を推進するなど絶えず中心的役割を果たし、組織の確立及び事業展開に大きな貢献をされた森田隆昌氏が2011年5月31日一身上の都合で退任されました。後任としては、同氏と共に事業の充実に努めてきた木村統氏が支える会総会において選任されました。

#### 『多大なご支援とご協力に深謝し、老兵は静かに消え去るのみの心境』 森田 隆昌

この度、平成11年より約12年間、お世話になったワークスたんぽぽを支える会の理事職（専務理事担当）を5月31日付けで退任させて頂きました。ボケないで元気なうちに引き継ぐべきと自分なりに考えました。この間、県や市、ご父兄職員、関係団体の各位には多大のご協力を賜り、心から御礼を申し上げます。

平成12年4月に初めてワークスたんぽぽが県と市の認定を受け、委託作業所となりました。8月には池の川から現在の成沢事業所に移転し、13年2月にNPO法人を取得しました。15年に鹿島事業所、18年に相賀事業所、そして今回の大沼事業所の開設と各節目を体験させて頂き感謝しています。又、18年10月に障がい者自立支援法に基づく就労移行支援事業に市内で最初に移行し、現在は就労継続支援事業B型を加えて運営規模も委託作業所時代の約4.5倍となり、利用者も60人（定員71人）となっています。会社と屏風は広げるほど倒れやすいと言った人がいますが、常に大局的な視点からの将来像を忘れないような運営をお願い致します。

#### 『これからもよろしくお願い致します。』 木村 統

森田さんのようにはいきませんが、精一杯頑張りますので、今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。

### ～ 2011年度 主要行事 及び イベント ～

昨年同様、事業所の事業内容を充実するとともに、地域のイベント等に積極的に参加し、地域の方々との交流を深めると同時に、お弁当や陶器、工芸品の販売により障がい者への理解を深めることに努めます。

4月	大沼事業所開所・塙山ゴチャッペ市	10月	健康診断・日立ライフフェス
5月	理事会・定例総会	11月	ワークス祭り・成沢・滑川文化祭
6月	養護学校実習生・高齢者陶芸教室	12月	北欧視察・障害者文化祭
7月	保育園夏祭り・子ども会陶芸教室	1月	入所希望者相談・日高鳥追い祭り
8月	会報発行・成沢盆踊り・日高おんもさ祭り	2月	会報発行・幼稚園陶芸教室
9月	新任研修会・支援計画検討・よかっぺ祭り	3月	健康診断・支援計画検討

発行事務局 特定非営利活動法人 ワークスたんぽぽを支える会

〒316-0032 日立市西成沢町1-6-1 電話/FAX 0294-26-0086